

## 「岩手の復興と再生に」 オール岩大パワーを

vol.30

<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/fukkouletter.shtml> 岩手大学ホームページからもご覧いただけます。

### 岩手県山田町大沢地区 仮設住宅調査の結果を公表しました

三陸復興推進機構生活支援部門地域コミュニティ再建支援班の麦倉哲教育学部教授らが岩手県山田町大沢地区の仮設住宅に入居している住民の方々を対象に行った調査の結果を公表しました。この調査は、世界保健機関（WHO）が提唱する世界共通の健康指標（WHO-5）に基づく調査で、仮設住宅に入居されている方々の精神面での健康状態について調査したものです。

調査は昨年11月に実施され、調査の結果、「生きがいが見いだせない」等精神面の健康状態が良好でないと言われる男性の割合は51.9%に上り、女性の37.1%に比べて高いことが分かりました。年齢別で見ると働き盛りの40代で60%と高い結果となりました。また、地域の中で何らかの活動を行っている人は、そうでない人と比較して精神面の健康状態が比較的良好という結果になりました。

調査を実施した麦倉教授らは、精神面の支援も復興支援の重要な課題であるとして、被災地域のコミュニティ再建のために精力的に活動を続けています。5月30日には、山田町中央コミュニティセンターで、行政や住民の方々と共に課題解決の方策を考える調査報告会も開催しました。

この調査は、山田町大沢地区仮設住宅の皆様にも多大なるご協力をいただき、実施しました。調査結果の中には大変貴重な体験や困難な事情、重要なご指摘等も含まれています。この調査結果を今後のまちづくりを活かしていけるよう岩手大学ではこれからも継続的に活動してまいります。

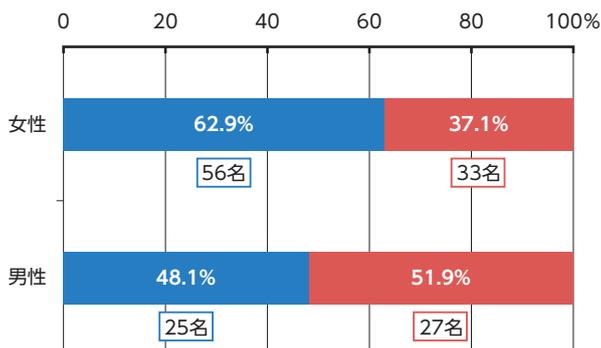
#### ◆WHO-5とは

世界保健機構（WHO）が提唱する世界共通の健康指標。日常生活に関する5つの質問に対して、「いつも」（5点）から「まったくない」（0点）までの6段階で答える。25点満点のうち、13点以上は比較的良好、12点以下は良好でないと言われる。

#### 調査結果について（抜粋）

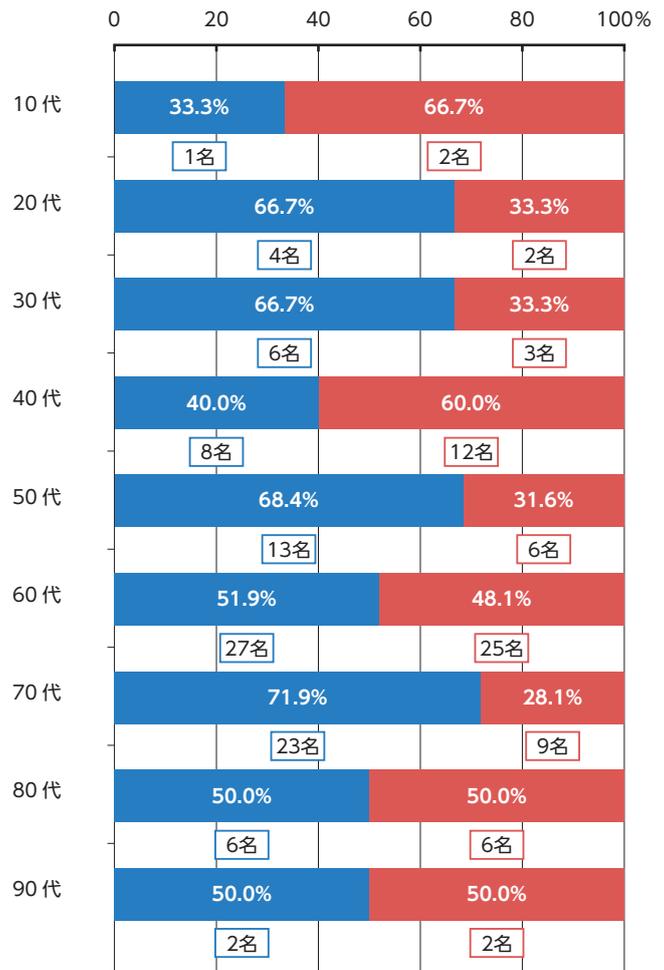
※比較的高い点数＝精神的に比較的健康である：青い帯  
比較的低い点数＝精神的に問題を抱えている：赤い帯

#### 精神面の健康状態の比較（①性別による差異）



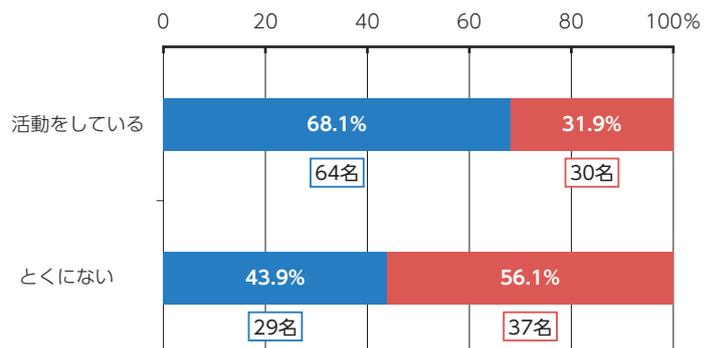
(図1) 女性と比較して、男性の方が精神面の健康状態が良好でないと言われる割合が高い。

#### 精神面の健康状態の比較（②年齢による差異）



(図2) 40歳代で精神面の健康状態が良好でないと言われる割合が高い。

#### 精神面の健康状態の比較（③地域社会での活動の有無）



(図3) 地域社会内での活動について、「活動をしている」と回答した人は精神面の健康状態が比較的良好であることが窺える。

